

2024年4月24日
SCSK株式会社

SCSK のクラウドサービス「USiZE」をリニューアル ～データ主権の確保とクラウドコネクティビティで 顧客の攻めと守りに伴走するプライベートクラウドに～

SCSK株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役 執行役員 社長:當麻 隆昭、以下 SCSK)は、サービス提供開始から20年となるクラウドサービス「USiZE」(ユーサイズ)について、サービスの位置づけと方向性を再定義し、企業の攻めと守りのクラウド活用をより強力に支援するためにサービスをリニューアルしました。

1. ブランドリニューアルの概要

USiZEは2004年より、利用量に応じた従量課金型のユーティリティコンピューティング^{※1}に運用サービスを付加し、現在でいうプライベートクラウドを提供しています。しかし、当時は革新的であった従量課金型サービスはクラウドサービスの普及とともに一般化し、またUSiZEにおいては顧客ニーズに応じてパブリッククラウドや仮想デスクトップサービスなど多様な関連サービスの充実化を図ってきましたが、一方で差別化要素やブランドの一貫性が失われてきていました。

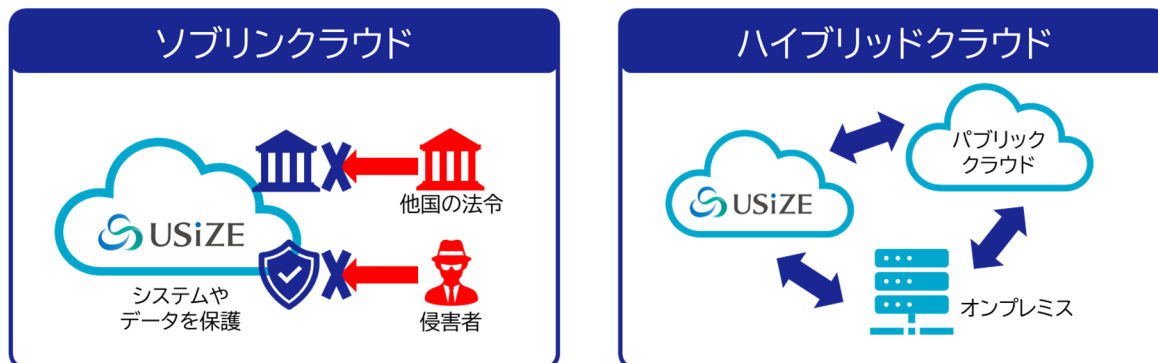
昨今、企業の事業環境がますますデジタル化にシフトする半面、経済安全保障の観点も踏まえたデータのガバナンス強化を求められており、システムに求められる要件も複雑化しています。また、機密性の高いデータの取り扱いやさまざまなシステム環境に適応するためのスキルセットの確保、システム費用の増加など、企業は多岐にわたる課題に直面しています。SCSKは、お客様の現在と将来の課題に寄り添い、共に解決する信頼できる共創パートナーでありたいとの思いから、USiZEの位置づけを再定義し、サービスをリニューアルしました。

※1 コンピューティング資源を、必要なときに必要なだけ買い足して用いることを可能にする方式

2. USiZEの位置づけと強化ポイント

リニューアルしたUSiZEは「SCSKが提供するプライベートクラウド」と位置づけ、「ソブリッククラウド^{※2}」「ハイブリッドクラウド」の2つを軸に、関連するサービスの強化・拡充を図ります。

※2 情報セキュリティや法令順守の担保に加え、他国の法令の影響を排除し、データ主権を担保したクラウドサービス



<ソブリッククラウド>

国内データセンターによる国産クラウドの利点を活かし、国内データの主権を保護するソブリッククラウドとしての

機能強化と関連サービスを展開します。本取り組みの一環として 2023 年に ISMS(JIS Q 27001:2023) および ISMS-CLS(JIS Q 27017:2016)認証を取得しました。今後、ハイブリッドクラウド環境での機密データの保護機能の提供や、サイバーセキュリティへの対応、コンプライアンスとガバナンスの強化を図っていきます。

<ハイブリッドクラウド>

パブリッククラウドの利用が増加するなか、ハイブリット環境の一翼を担う USiZE が、企業のクラウド利用に関わる課題を解決します。SCSKが提供するパブリッククラウドとの接続サービスとの連携を強化し、低遅延、高コストパフォーマンスな構成を実現するとともに、パブリッククラウドに適さないシステムへのサポート、ハイブリッド環境での運用支援、データの最適配置などのサービスを拡充します。

3. ロゴデザイン



ロゴデザインは、襷(たすき)をモチーフに、顧客と伴走しパートナーシップを築き上げることを表現しています。曲線の軌道でアルファベットの「U」と「S」を表現しつつ、全体で 1 つの雲(クラウド)を形成し、さらに青から緑へ変化させる色で、これまでの価値観である「堅牢さ」「信頼感」に加え、ハイブリッドなクラウド環境を構成する「しなやかさ」も兼ね備えていることも表現しています。

4. コンセプト／キーメッセージ

攻めと守りに伴走し、 なりたい未来にフィットする プライベートクラウド。

IT環境の複雑化。IT人材不足。
DX推進における様々な課題が潜む中、
企業は時代の変化に適応できるスピード感をもち、
重要データを保護しながら、成長することが求められています。

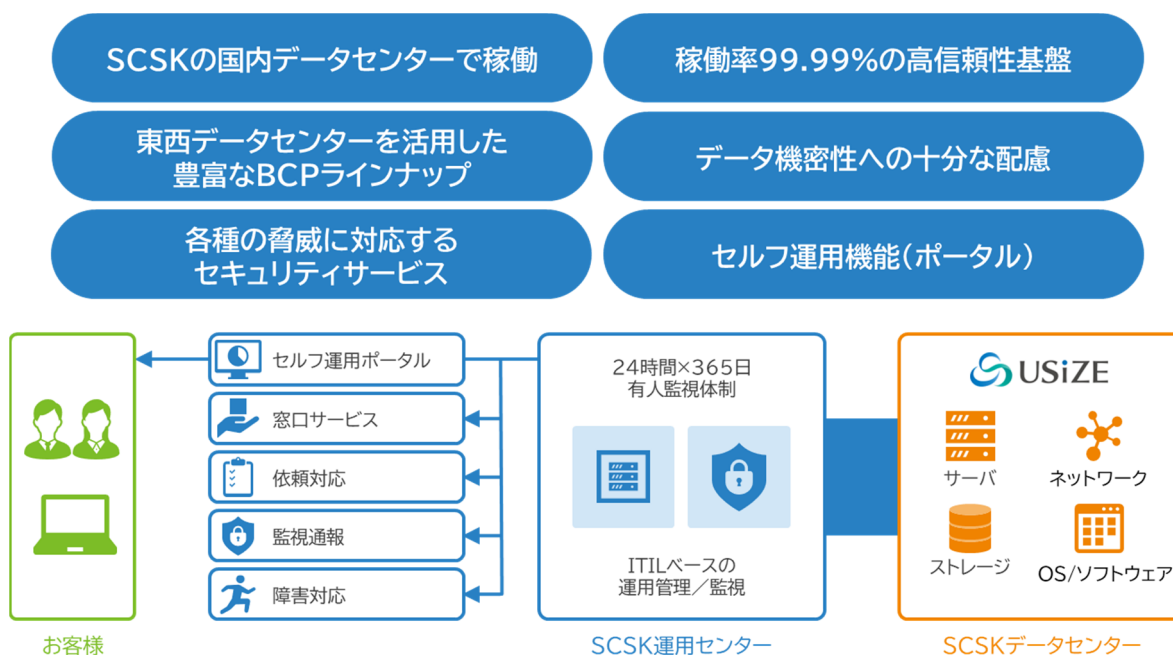
だからこそ、私たちはプライベートクラウド「USiZE」を通じ、
運用負荷の少ないハイブリッドなクラウド環境の構築や、
レガシーシステムのクラウド化を実現し、
より多くの企業のDXを成功させたいと考えています。

各種クラウドのハブとなる高い接続性。
堅牢なセキュリティによる重要データやデータ主権の保護。
そして、豊富な運用実績をもとにしたコミュニケーション体制で、
お客さまの共創パートナーとして、なりたい未来に伴走します。

「USiZE」について

「USiZE」は、運用サービスとともに提供する国産プライベートクラウドサービスであり、基幹系システムなど高い信頼性を求められるシステムで多くの採用実績を有しています。運用監視機能の標準装備、東西 DC を活用した豊富な BCP サービスのラインナップ、セルフ運用機能による迅速性・利便性といった特長を持つ機能については引き続きご提供いたします。

URL: <https://www.scsk.jp/sp/usize/service/usize.html>



SCSSKグループのマテリアリティ

SCSSKグループは、経営理念「夢ある未来を、共に創る」の実現に向けて、社会と共に持続的な成長を目指す「サステナビリティ経営」を推進しています。社会が抱えるさまざまな課題を事業視点で評価し、社会とともに成長するために、特に重要と捉え、優先的に取り組む課題を7つのマテリアリティとして策定しています。

本取り組みは、「安心・安全な社会の提供」に資するものです。

- －クラウド活用の支援により、企業の DX 化を推進
- －堅牢なセキュリティによる重要データやデータ主権の保護
- ・SCSSKグループ、経営理念の実践となる 7 つのマテリアリティを策定

<https://www.scsk.jp/corp/csr/materiarity/index.html>

本件に関するお問い合わせ先

【製品・サービスに関するお問い合わせ先】

SCSSK株式会社

ソリューション事業グループ

クラウドサービス事業本部 USiZE サービス部

E-mail: usize-info@scsk.jp

【報道関係お問い合わせ先】

SCSSK株式会社

サステナビリティ推進・広報本部 広報部 須田

TEL:03-5166-1150

※ 掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。